

あづみ野シネマ日和



©1959松竹株式会社

からたち日記

幼くして芸者に売られ、
 戦中戦後の混乱期を生き抜いた女性
 「つる」の数奇な半生。
 安曇野で晩年をすごした増田小夜の
 自伝を映画化。

1959年／松竹／119分
 監督…五所平之助
 出演…高千穂ひづる、田村高広、島倉千代子

9月17日(土) 午後1時

豊科公民館ホール

(安曇野市豊科4289-1 ☎0263-72-2158)

◆ 入場料300円(500人自由席) 8月2日(火)より販売
 ◆ チケットのお求めは

穂高交流学習センターみらい
 豊科交流学習センターきぼう (2階受付)
 豊科公民館ホール
 イベントナガノ (ウェブ)

【問合せ】

安曇野市教育委員会文化課

安曇野市豊科6000番地

電話 0263-71-2463

FAX 0263-71-2338



安曇野市
ホームページ

増田 小夜 (ますだ さよ)

1925年、長野県塩尻市生まれ。
 11歳の時に諏訪の芸者置屋に売られ、その後、身請けされるも、各地を放浪する。豊科に移ってからは居酒屋「どん底」を営む。三十歳近くになってから独習で字を覚え、自分のような逆境の捨て子を生子殖やしてくれるなどの思いにかられ自伝を執筆した。主な著書『芸者 苦闘の半生涯』、『「どん底」開店』など。82歳で逝去。

